

御殿場エコサポーター活動報告書

平成31年3月18日

御殿場市長 様

団体名 御殿場市一般廃棄物処理事業協働組合

代表者 理事長 高森 茂生

以下のとおり環境保全活動を実施したので報告します。

登録No.

第 7 号

活 動 実 績	<ol style="list-style-type: none">1. 生ごみのたい肥化をバイオ処理することで二酸化炭素発生量を削減2. 循環型社会の形成（未活用資源である生ごみからたい肥をつくり、土壌改良剤として土に還元する。） 生ごみ処理量 401,968kg たい肥生産量 31,260kg 配布件数 766件3. 可燃ごみ処理施設の負担軽減（焼却センターごみ発電の更なる熱回収・効率化）に貢献した。
---------	--

- 備考
- ・ 活動風景等の分かる写真等があれば添付してください。
 - ・ 活動実績や写真等は、市ホームページ・広報紙等で紹介させていただくことがありますのでご了承ください。

【ゆめかまど】

堆肥になるまで

・ 生ごみの回収と搬入

回収してきた生ごみを、処理施設に搬入します。
この時、不燃物（ビニール・紙・金属等）が入っていないかチェックします。



・ 搬入された生ごみの「破碎」

搬入した生ごみをコンテナに入れ、破碎機まで運びます



破碎機の取り入れ口に、生ごみを入れます。



破碎機によって粉々になった生ごみをコロニー（菌床）に投入します。



・ 攪拌

ホイールローダーにて、生ごみとコロニーを良く攪拌（混ぜる）します。





生ごみはコロニーに混ぜると、「発酵」し、コロニーの温度は50度～70度まで上昇します。

翌日には、投入した生ごみは90%以上減容されます。



・ 熟成 ふるい そして堆肥へ

生ごみが発酵し減容されたコロニーを、数か月寝かせ、乾燥させます。



乾燥したコロニーをふるい機にかけて、木材チップと、サラサラの土と、搬入時に混じった不燃物（小さなビニールや紙等）とに分別されます。



ふるいに掛けた
堆肥を熟成させ
ます。



堆肥の完成で
す！！
完成したたい肥
は、市民や農家に
提供され、野菜・
お米・花作りに使
用されています。



ゆめかまどの隣の畑
で野菜を作ってます。

